

みんなに分かりやすい
ホームページにするには、
どうしたらいいかな？
(出向く型)

開催日：2025年10月4日（土）

目次

2025年10月4日

実施概要	3
1 班 (4 名)	4

実施概要

テーマ

- みんなに分かりやすいホームページにするには、どうしたらいいかな？

・ 開催日

- 2025年10月4日（土）

・ 参加者

- 4名

・ 形式

- 出向く型（障がい者支援施設）

（注）本資料は、いけんひろば参加者個人のご意見を逐語的に記載したものです。本資料の記載内容は、政府としての見解や評価ではありません。

なお、発言者個人の特定や、特定の個人や団体等への直接的な批判につながる恐れがある発言については、発言の趣旨を改変しない形で修正しています。

1 班（10 代 1 名、20 代 3 名）

- みんなにとって、見やすいものになっていますか？
- みんなにとって、読みやすい文章になっていますか？

<ホームページを見て印象に残ったことはあるか？わかりやすかったところや分かりにくかったところはあるか？>

- ・ 漢字が多い。用語の解説をしたほうがいいのかも。小学生はちょっと（難しい）かもしれない。特に熟語部分（は解説した方がいい）。こども用と大人用を分けるのはどうか。このホームページ自体はこども用だと思っているけど、大人からしたら読みやすいが、ひょっとしたらこどもからしたら漢字が多いかも（しれない）。
- ・ 確かに（大人用のページと分けるのはいいが）一から作るとなると（大変）。
- ・ （解説をつけても）訳注は誰も読まない。政治に関心がある人であればわかるかもしれない。資料に書いてあるような知識がある人や、熟語の知識がある人、「この用語はこういう仕事をする人に関するものだ」とわかる人、文章を読むことに抵抗がない人などにしかわからないと思う。教科書を理解できないこどもには難しい。
- ・ はじめにの部分で国会とか内閣とか立法権にあまり詳しくない人にとっては、馴染みのない言葉が、そのままストレートにでてきている。用語の解説が集まったところを最初に作るのいいかもしれない。そこを見ながら読み進められるように。ページごとのヘッダーや別ページでもいいが、そこを参照しながら見ることができるかと分かりやすいと思う。
- ・ ニュースを見ている人であればわかるかもしれない。ニュースだと映像が出てきて抵抗なく見ることができると思うので、まずニュースを見る習慣をこどもにつけさせるのがいいと思う。この資料に出てくる用語とか（もニュースを見ていればわかると思う）。このホームページの存在をそもそも知らないこどももいると思うので、学校の社会科の授業や義務教育で存在を教えたほうがいいのかと思う。
- ・ 国会の役割は動画視聴サイトの動画で解説しているのか？（役割に関する）テキストの解説がないが。
- ・ このホームページは意見を提出することができるのかわからないが、政治についてこうしてほしいなどの要望をこどもから集めたらいいのではないか。
- ・ 各党の説明を入れた方がいいと思う。18 歳から選挙権があるので、いろんな党の概要や目指していること、どんなことをする党かをリンクではなくページ内でわかりやすくまとめること。実績なども。（ページを）更新していけばよく、選挙の時にありがたいと思う。
- ・ 何を分かってもらうことを目的にしているのか。多分 2 番目の政府のお仕事の部分が自分の中では結構大事だと思っているので、（政府のお仕事が 1 番にくるよう）順番が逆でもいいと思う。このホームページは内閣のページなので、いま政府が仕事をしているのか、してないのかみたいな事が議論になる。政府のお仕事として、こういう事をやっていますという内容をメインに置くとよい。三権分立の

説明がこのページで必要かは自分には分からないが、何を目的に三権分立について、この首相官邸のページで説明しているのかと思った。首相官邸は三権のうちの1つの機能なので、(三権)全体を説明するのは必要なのだろうか。

- ・ (首相官邸のホームページで三権分立全体の話をしているのは) 独裁政権とか、独裁ではないよというアピールではないか。(三権分立について) そう説明しているところがあり、1人が暴走するのを防ぐために、1つの組織が好き放題できないように三か所に分けている。
- ・ 解説のページを見ていて、もしこのページが知識をわかりやすく伝える役割であるならば、よくeラーニングの教材のページの最後にあるようなこの章のまとめやチェックリスト、まとめリスト(索引やまとめクイズ)のような重要なキーワードをピックアップして解説や振り返りができる場所があればいいと思う。
- ・ 例えばウェブサイトにしても、学習教材系のサイトは、まず一度解説した後に、最後にこの章のポイントを示している。そのような(少し振り返れるような)場所が短い文であると、(読んだ後に)知識が定着しやすいかなと思う。
- ・ こどもも参加できるような小学生でも身近なイベントなどを記載するとよいと思う。裁判傍聴など。
- ・ キャラクターがばらばらになっている。動画視聴サイトのリンクとかにはそのチャンネルのキャラクターであったり、省庁ごとに使っているマスコットキャラクターが表示されている。このサイトで使っている、ミズク(のキャラクター)もいてごちゃ混ぜになっている。
- ・ 外交のことが書いてあれば、こども達も知りたいかなと思う。こどもたちも今ニュースでいろいろ戦争や侵攻などの話題があるため不安だと思う。世界で共存するために、知識が必要だと思う。
- ・ 内閣の仕事の中で外交を行うとあって、外務省のページもあるのだろうか。
- ・ 政府の仕事のところは時間ごとに見られて面白い。これは実際に具体的な(内閣の)仕事が見られて面白い。
- ・ 動画の埋め込みが多いため、もっと画像だと面白く、読みやすいかもしれない。クリックして(動画を)再生する必要がある。サイトとしては、(動画を見なくても、内容が)完結している方がスムーズだと思う。
- ・ 対話形式をもっと増やしたらわかりやすいかなと思う。こどもの視点で、こうなの?という疑問を出す小さいミズクみたいな、ミズクだけでなく小さいこどものような(キャラクターがいればいいのではないか)。それでこどもの視点で意見を聞いてくれるとよい。(現状は)ひたすらミズクさんが多いので。これはこれでスペースがあまりなく、読みやすいため、どちらでもよいと思う。
- ・ 内閣総理大臣を支える人々のあたりは難しい。内閣総理大臣を支える人々、国务大臣、官房長官、大臣補佐官、大臣秘書官など、やはりこのあたりはどうしても漢字が多くなってしまふ。法律で決まっている漢字自体は変えられないが、どうにか(改善)したいとは思ふ。内閣官房長官、各省庁の国务大臣、内閣総理大臣補佐官は文字が(長い)。
- ・ 灰色のミズクさんに詳しく説明してと質問させるとか(がよい)。
- ・ 説明口調の部分が多い。
- ・ 組織図のようなものを作って、図面にした方がわかりやすいと思う。

- ・ (その図では) 内閣総理大臣が指名する国務大臣、その下に副大臣とか大臣補佐官など、そういう政務三役の(位置づけがわかる)図を入れた方がいいと思う。
- ・ 文章より形にした方がわかりやすいと思う。
- ・ その役職の方のインタビューを入れるとよいと思う。何をきっかけに志したか?などのインタビューを入れる。そうすると、身近に感じるかもしれない。
- ・ 具体によりすぎていると感じる。現状は本質的な面白さがないと思う。
- ・ 抽象的でわかりやすくあるとよい。
- ・ ラディカルというか、法律や政府の仕組みなどの本質的な制度の解説があるページがあると個人的に面白いかなと思う。どうしてこの今の政府の形になったのかなどの経緯があるとよいと思う。難しいのかもしれないが。そうすると具体的に何をやっているかが分かりやすくなる。
- ・ 法律がこのためにあるやこの制度はこのためにあるなど経緯の部分があるとよいと思う。歴史の部分になるかもしれない。歴史、イベントなどと分けるのがいいのかもしれない。
- ・ 親しみやすさという意味でいうと、キャラクターなどは親しみやすい。しかし、例えば映像の中にいる政治家や内閣総理大臣などの人が映っている映像に親しみやすさがないという問題があると思う。例えば先ほど、それぞれ内閣の構成する人たちのインタビューを載せたらどうかみたいな意見があったが、今の加藤財務大臣が、一時期、アニメの学校の先生に髪形などが似ているという内容で有名になったことがある。そのような内容を知らせる映像があるとよい。ページ自体だけでなく、その人自身にも親しみやすくないとぴんとこないのではと思う。
- ・ 用語の解説などのページがあると個人的には面白いかなと思う。データベースのような形で見ることができると、よく見たい人には面白いと思う。フローとして解説しているページはあるが、用語を一つ一つ解説していて、(解説を)まとめたページ、辞書的なページがあるとよいと思う。
- ・ その用語にリンクなどを貼っておいて、上に吹き出しのように解説するとよいのかなと個人的に思う。もしくは、リンクの一覧に飛ばす。
- ・ 少し教科書っぽいと思う。教科書っぽいと、少し読むのが嫌になってしまうかもしれない。

● みんなが「楽しい」と感じる内容になっていますか？

<どんなものだと読みたいと思うか?>

- ・ 総理大臣になったら何がしたいという内容は、もっと設問がある方がよいと思う。もっと分岐点が多いと面白く、自分も面白そうやってみたいと思った。
- ・ 科学技術を応援と、働きたい人を応援の二つしか(選択肢が)なくて、Cがその他というのは少しおかしいと思う。ありすぎはよくないが、四個か五個は選択肢は欲しい。
- ・ もう少しゲーム性があるとよいと思う。
- ・ 例えば、人生ゲームを参考にするとよいのではないかな。

- ・ 今は選択式だが、もう少しミニゲームのようなものを入れれば良いと思う。具体的には思いつかないが。人生ゲームというのはとてもよいと思う。ダイスを振る、ルーレットをするなど、運の要素入れるといいと思う。
- ・ 選択肢が一つ一つ増えたり、ゲームの答えとして（現状の）普通の総理大臣だけでなく、別の答えとしてやばめな総理大臣もあれば良いと思う。批判を受けている大臣と完璧な大臣、真ん中程度の大臣になるというゲームの方向性がよいと思う。やばい方向性（の答え）を入れることでより面白くなると思う。この人（プレイヤー）やばいとなりそうではあるが。
- ・ 初めから、この二つ（の選択肢）だと最初から誘導されているように思う。誘導と言わないまでも思惑（を感じる）。
- ・ 内閣総理大臣を支える人々のページについて、このページはすべてリンクを貼っている。その人についての説明が、別のページに遷移する（仕組みになっている）。他のページとの整合性もあるが、このフローにする必要性はないと思う。一覧でリンクに飛べるようにした方が、このページ単体で見ると分かりやすい。1ページに収まるようにして、スクロールしなくても（見ることができる方がよいと思う）。
- ・ 内閣総理大臣のお仕事の部分について、内閣の閣議は四角い部屋で椅子に座っているニュースの映像がよくでてくる。閣議が終わった後の映像なのか分からないが。例えば、そのようなイラストを置いて、ここにいる人と、（画像を）クリックすると、財務大臣のページとか財務省のページ（に飛ぶ）とか、ここに座っている人、立って司会している人を押すと、内閣官房長官、内閣官房のページに飛ぶなど（の仕組みがよいと思う）。閣議のイラストでもよいが、例えばその新任式などの階段に並んでいる映像とか、その画像にある顔の箇所を押すと、そのまま（その人や役職などの）ページに飛ぶとかはありだと思う。内閣の階段で撮っている写真をドカンと置いて、その顔写真とか顔の部分などをクリックすると、こういうことをしていますといった説明のページに飛ぶ（のもよいと思う）。

<このホームページは時々見に行こうと思うか？>

- ・ （こども向けのページと）大人のページを共通にする（とよいと思う）。やはり別々のドメインにしてしまうとこどもは飛び方が分からないなどがある。同じドメインにして、同じページにすることで見てくれる人は増えると個人的に感じる。大人向けのページを漢字だけにすることで、政治マニアなどが結構そこ（のページ）に食いついてくると思う。わからない人やこどもだったら、ふりがな（をふるなど）。制作する過程で、少し手間が発生するところが（懸念である）。
- ・ 今の首相官邸ページは残るのか？
- ・ （担当課の回答）リニューアルして、キッズと同じタイミングで新しくなる。
- ・ そういう（大人の人でも学習のために見る）意味では、内容も含めて少し教科書的（に感じる）のは、目的には合っていると思う。
- ・ 入り口が目的であるなら、超ポップにしてもよいかもしれない。

- ・ 色というより内容を（ポップにする）。例えば若者言葉を使ってみるなど。だが、大人の人も見るので難しい。
- ・ 首相官邸の今のページもリニューアルするのか？内容は特に大きな変化はないか？
- ・ （担当課の回答）会見などの内容は、記録なので変更はしない。レイアウトについては、いろんな人が簡単に探しやすく、検索性に優れ、見やすくなるように変更する予定。
- ・ 今内閣が何をどういう働きをしているのかという内容と、（ページに記載があるような）内閣とは何ですか？という内容では、そもそも内容が大きく違っている。こどもにとってはおそらく、社会の授業でこのページを見て勉強するという目的が主なこのウェブサイトを利用するタイミングになると思う。政治についてあまり知らない大人が、内閣ってものの役割をまず勉強、知るというときに、このウェブサイトをもっと見るのかどうか少しわからない。

<日常生活の中で、首相官邸や総理大臣など、この国の（政治などについて）どうなっているか見てみようって思う場面はあるか？>

- ・ 自分が一番見るのが、税金や所得とはなんだろうなどの内容を調べるのに、国のサイトは使う。公的な手続き、お役所手続きの時に（国のサイトを）見る程度である。自分は、今起きているわけではないが、例えば親族が亡くなった時の手続きだったり、緊急性がある時に見るページとなると、（サイトが必要になった時に）見るのはこのページではおそくないと思う。もう少し抽象的な政府のことについてだが、（その情報を）知らなければいけないという必要性にかられる場面というのが、大人になればなるほどない。だからそういう人に対しても、リーチできるような作りにはした方がいいとは思っている。ただ、それをどうすればよいかは、自分にもわからない。

<次の総理大臣を決める時や、選挙などの動きとかある時に、何か見ようなど思うか？>

- ・ （内閣総理大臣の選定は）国民が投票するわけではないので（見ようと思わない）。
- ・ 選挙は各党の政策を分かりやすくまとめてくれるホームページや動画があるため、そちらを見る。
- ・ いつ見るかなと考えていたが、そもそも最近ウェブサイトを見ないなと思う。今は AI がある。
- ・ シンプルにこの（ページの）一番上にチャットで聞ける（ようにするのがよいと思う）。ホームページなどで端っこを丸アイコンして、チャットで聞けるカスタマーセンターのようなもの。そういうのを作るというのも、ありかもしれない。
- ・ 総理や政治家が SNS などをやると、身近だし、（政策などを）知ることができてよい。
- ・ 普通にウェブサイトを見ない。動画視聴サイトのショート動画や SNS の動画が多い。
- ・ 自分はテレビでニュースを見る。普通のテレビ番組は、ルッキズム発言などが昔たくさんあったため、嫌だなと思いテレビを嫌いになって見なくなってしまった。それでニュースを見なくなったことで、政治の知識から遠ざかったことがある。
- ・ ウェブサイトのメリットは何だろう。

- ・ 考えていたが、AI（に聞く）以上にこのウェブサイトアクセスする価値って何だろう？というところ（が大事だと）思う。
- ・ 見る側のメリットがあるかどうか。
- ・ 掲示板を作るのはどうか。
- ・ 自分はネットで生配信やっているが、時々視聴者からの政治に関しての話題が結構飛んできて、政治についてこう思うといった自分の中の意見を言っているサイトを時々見ることがある。最近少しこっちに傾いてる、内閣変わったら少し大変なことになるといった爆弾発言なども出ていた。他に（視聴者からの）コメントなどを拾うが、自分の生放送を見る人は政治マニアが多い。内閣の政策でいうと話がそれてしまうが、例えば今ガソリン税の減税をやっている。税金の意味はないのではないか、など。自分から見ると、（このページは）あっていいと思う。分からない人は見て、自分の（知りたいことの）回答が出るため、あっていいと思う。しかし、全員見るかという、見る側のメリットが少し少ないのかなというのが、一つはあるのではないかと思う。結局、（ページを）見る側のメリットは、政治家の仕組みが分からない、普段テレビを見ない人が見て、政治ってこういう仕組みなのだ（と学べること）。これしている人はこういうことをしているなどを見るのに少し使うが、その用途以外の人を見るのかな？と少し疑問に思う。
- ・ AIに聞いてみた。AIがある時代にアクセスする価値のあるウェブサイトとは？（答えは、）「端的に言うと、一つは一次情報とか公式ソースを載せているウェブサイト。AIが参照するため。正確な情報を載せている一次情報のサイト、例えばこのような政府のサイト、一次情報である企業のページ、大学のページ、あとデータベース、ロングアーカイブのページなど。2つ目はリアルタイム情報を載せているサイト。ニュースサイトやSNSなど。あとは、コミュニティ参加型のSNSやQ&Aのフォーラム。とは体験インタラクション重視のゲームやウェブアプリ、ショッピングサイトがある。3つ目に信頼保存価値のあるアーカイブという視点もある。」アーカイブのサイトは残っていく。
- ・ アーカイブについてはこっちじゃない方（大人向け）の首相官邸の（ホームページの）役割だと思う。
- ・ 関係ありそうなのは一次情報と、少しインタラクション体験というところとアーカイブというところ。
- ・ もう少しインタラクティブがよい。
- ・ 政治も自分の生活と関係があって、投票なども、より良くするために必要である。他人事ではないことを説明するために、わかりやすくホームページに載せたら（いいと思う）。このような（自分と）関わりがある、税金はこのように使われている、など。
- ・ 市民の一日の生活に合わせて、それぞれの省庁の仕事などを紹介しているというのは、よい点であると思う。普段の生活と（政治が）関わっているという実感が無い。だからこそ、このウェブサイトが必要である。
- ・ （私たちの生活と「政府のしごと」は）解説するよりも、ストーリー性を主に書いた方がいいかもしれない。
- ・ 体験型のウェブサイトでも、残っている意味があると思う。

- ・ 内容はすごくよいが、（生活と政府の仕事のページは、）説明的すぎると感じる。何とか省は、何とか省は、何とか省は、何とか省は・・・のような文章が長く続いている。ここの内容はもう少し対話形式にするなど、何かしらよい方法がないかと思う。
- ・ 例えば学校で給食のパン、魚、お肉、野菜、牛乳を、農水省と関係があると（結び付け）、水道とかトイレを流す（ことに関係させるなどでもできると思う）。街の絵を入れても（よいと思う）。

<ディスカッションをする前と後で、このサイトに対する気持ちや思い、考えなど変わったことはあるか？（担当課からの質問）>

- ・ 最初は情報の参照性や網羅性、あと分かりやすい解説に意味があるのかなと思っていたが、AIが言ったことを思い出し、もっとインタラクティブを重視したサイトになると、アクセスしやすく面白いかなと思った。
- ・ 思ったより、色彩とかカラーが思ったよりとても見やすく、ドライアイを持っている自分でも、液晶（画面）でも十分見ることができたため、驚き、とてもよいと思った。
- ・ サイトを見る側と作る側の話を聞いてみて、一番政治に関心を持ってもらいたいという気持ちがとても伝わってきた。これ（ホームページ）を分かりやすくすれば、例えばこどもとかでも政治に関心を持ってくれたり、内閣などの仕組みをしっかり理解できる。将来理解できるようにしていく上で、やはり分かりやすくするというのに気づきがあり、変わった。
- ・ 最初、内容を見て正直何か特に思うことはなかったが、途中で今のサイトはどうなっているのかなって見た時に、驚いた。これはすごい進歩なのだ、すごく良くなっているのではないかと思った。一気に現代に様変わり、タイムスリップ。

<最後に少し言いたかったこと、言い残したこととかはあるか？>

- ・ 開発者ツールでコード見た時に、自衛隊のサイトなど、アスキーアートがある。記号で、猫ちゃんの戦車になっているような、そういうの（遊び心など）を入れてほしいです。
- ・ 小さいこだわりみたいなのが、今大事かもしれない。そういうの（こだわり）がネットでバズる。
- ・ もっと遊び心があってもよい。
- ・ （そういう心意気は）意外と馬鹿にならないと思う。
- ・ 歴代の不祥事などを書いたら面白い（と思う）。
- ・ 不祥事歴史集のような。怒られない程度に。
- ・ あとはゲームでコンプライアンスに引っかからない程度に、なにか少し面白い選択肢が少し増えたと思う。
- ・ こども騙しじゃなくて、大人が（ゲームを）やって楽しいということも想定するといいかかなと思う。
- ・ 逆にゲームのせいで、こどもに悪影響を与えそうな気がした。
- ・ 人生ゲームというのはたしかにいい案だと思った。

<今日の感想をお願いします。>

- ・ 自分は機械音痴なので、ホームページの作成について意見とか言えるかなと思ったが、思ったより意見が言えてよかった。
- ・ 皆さんの意見がとても出てきて、自分もびっくりした。何かある意味激しいディスカッションだった。
- ・ 今日ここに来ているだけでもたくさんの方がいて、やっぱりこんなにたくさんの方の役割の方が関わって、サイトを作り上げていくんだなって思うとすごく面白かった。
- ・ サイトを作る上で、やはり政治に関して意見を出すために、内閣府ってなんだろう、こういうのをこうすればいいのかなというのに改めて向き合えたことが一番自分の中で、心が変わったところがある。